

# 新潟県子ども・若者会議

## 皆様の意見にお答えします！



令和7年8月～9月にかけて、小学生、中学生、高校生、大学生等・20歳代、保護者の世代別に会議を開催しました。たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。皆様からいただいたご意見について、新潟県の今の考え方や取組をお伝えします。これからも新潟県や未来の社会のことに興味や関心をもっていただき、一緒に考えていきましょう！

### 農業の担い手の育成・確保について

- ・お米を作る人をふやしたい（おいしいものがふえる、お米不足が解決する）（小学生）
- ・新潟県の食料自給率80%以上（輸入を減らして日本や新潟が自立できるようにしたい（外国に頼りすぎない））（小学生）
- ・田畑に興味がある人がふえてほしい（若い人が田畑をやると応援してもらえて寄付が増えるから）（小学生）
- ・「ちょっとでも農業をやってみたい」と思う人が増えてほしい（中学生）
- ・米どころ新潟であり続ける。若い農家を増やして、稼げるようになったり、魅力アップを図る。（大学生・20代）



### 県の考え方：引き続き取り組んでいきます！

みんながずっと新潟県のおいしいお米を食べられるようにするには、作る人をもっと増やすことが大切です。

このために、「農業って楽しいよ！」ということをもみんなに知ってもらうために、農業で活躍している人の情報を伝えたり、農業の仕事を体験できるチャンスをつくらせています。

また、機械の使い方やお米の育て方を学ぶ勉強会や、農業を始めたい人を応援するためのお金を支援して、若い人たちが農業にチャレンジできるようにがんばっています。

新潟県が運営する農業情報サイト「にいがた農業ナビ」  
<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/nogyo-navi/>



### 持続可能な農業の推進について

- ・気候に左右されず、持続可能な産業をもつ新潟になってほしい（激しい気候変動に悩まされる現状があるため、農家の人への補助金、農業や生活面での水不足解消）（高校生）



### 県の考え方：引き続き取り組んでいきます！

近年、夏の気温が年々高くなり、雨が少なかったり、一度に大雨が降ったりするなど、これまでとは違った気候により、農作物の品質低下や収穫量が減少する危険性が高まっています。このため、県では高温に強い品種育成や、順番に水を利用し、無駄の少ない水管理を進めるなどの技術指導を進めています。また、収量が減った場合の保障制度への加入や環境に優しい農法の取組を促すなど、気象に負けない持続可能な農業が広がるよう取り組んでいきます。

